

日本共産党  
宇都宮市  
議員団

あなたの声を市政に

ほっとらいん

12月議会報告  
第67号

発行  
日本共産党宇都宮市議員団  
宇都宮市旭1丁目1-5  
電話 632-2622  
FAX 632-7753



質問する福田くみ子議員

## 2人に1人ががんになる時代 がん患者応援対策急げ!!

宇都宮市議会12月定例会では日本共産党から福田くみ子議員が一般質問に立ちました。

福田くみ子議員

国ではH24年にはがん対策基本計画、さらにH27年にはがん対策加速化プランが策定され本市においても、がん検診の受診率向上が課題となっている。

そこで、死亡率の高い5つのがん(胃・大腸・肺・子宮・乳)健診について受診の際の1つのハードルとなっている、自己負担額について調査したところ、県内各市の中で宇都宮市が、平均よりも高いこと、県内でも大田原市が5つの癌について無料、下野市や鹿沼市なども子宮がんや乳がんなど一部を除いて無料としていることが判明。本市での無料化について見解を伺う。

酒井典久保健福祉部長

本市の受診率は、H24年度とH27年度との比較で、胃がん15%、肺がん32%、大腸がん33%着実に向上している。一人ひとりが、自分の健康は自分で守るという意識を持ってもらうために、保険診療

の自己負担の考え方を準用し2割程度の費用負担としている。70歳以上や、市民税非課税世帯は無料としている。

受診率は県内では中程度、中核市では上位なので、引き続き一定の費用負担と、受診しやすい環境整備や受診勧奨に取り組む。

がんの治療を受けながら就労するための環境づくりについて

福田くみ子議員

東京都では「難病・がん患者就業支援奨励金制度」が2017年度から導入された。がんや難病患者が、安心して会社で働き続けられるよう、雇用や就業の継続を支援するため、従業員の疾病管理や治療と仕事の両立に配慮する企業に対する助成金制度について、本市でもこのような制度導入の可能性について見解を伺う。

酒井典久保健福祉部長

今年度から国における、

### 掲載できなかった項目

- \*人口減少時代に対応したまちづくり(ネットワーク型コンパクトシティ・住宅開発のあり方・地域内交通)
- \*地域包括ケアシステムについて
- \*新生児聴覚検査について
- \*子育て支援について(学校給食・病児保育について)

(障がい者雇用安定助成金)雇用者に10万円の助成金)制度にがん等の病気が追加されたところで、本市としては、広報誌やホームページ、「事業所便利帳」や、国等の助成金を紹介するセミナーなどで周知していく。

### 「東京都難病・がん患者就業支援奨励金」

- ①採用奨励金  
がんや難病患者を採用するにあたって、疾病に合わせた出勤時間や職場内での環境整備の配慮についてプランを策定した場合
- ②継続助成金  
既に当該企業に雇用されている人が疾病を発症・再発した場合、復職を支援するプランを作成し継続雇用した場合①+②で最大60万円支給される

本市のがん検診の受診率は、少しづつ上がってきてはいるものの30%前後であり、若年層の発症が増加傾向にある中では、健診受診率を飛躍的に高めていく必要があります。また、国における就業支援についても始まったばかりで、実態に追いついていないのが現状です。今後、実効ある制度導入を粘り強く求めていきたいと思えます。

(福田くみ子談)

## 緑あふれる防災公園—JR宇都宮駅東口開発「うつのみや・セントラルパーク」を提案

## ちょっと待った!! LRT

LRT問題連絡会が行っている街頭でのシール投票では、いまだに6/7割に人たちが、LRT建設に反対を表明するという状況が続いています。そのような中で、次の2点について質問しました。

富山市へのLRT市民体験見学会に2千万円(4百名を予定)公募で公平に

富山市のLRT市民体験見学会に2000万円の経費で400名の視察を計画。市民誰でも参加できるように公募で公平に行うべきではないかと、質問



問。「地域のまちづくりを担っていたらいてはいる各市区の住民組織に、参加者の選考やテーマについて協力をお願いしている。」と答弁しました。

税金を使っているこのような参加者の選定は、市民参画の公平性を欠くものであり、認められないと考えています。

市街地開発組合の財政調整基金 市民に広く還元すべき

この基金約百十九億円は市と県が折半しそれぞれがLRT事業に充てるとしているが、もともとは市民・県民の共有の財産でありすべてをLRT事業に注ぎ込むことは、理解は得られないと質しました。

宇都宮市は、1989年からJR宇都宮駅東口開発に乗り出したものの、この間二回頓挫。今回は、LRT導入に合わせ、市は具体化を急いでいます。

福田くみ子議員は、12月議会でも、①これまでの整備方針と今回の整備方針との違い②市民参画を進めること③事業の中核となる2000名規模のコンベンション施設(国際会議場・展示場)について質したうえで、巨大な防災公園「うつのみや・セントラルパーク」をあらためて提案しました。

国際会議場はすでに供給過剰全国で36カ所も

質問の中で、福田議員は、「専門家によれば国際会議場や展示場のマーケットは、すでに全国的には供給過剰(福田議員の調査では36カ所)である」と指摘し、「他都市のありきたりの開発の後追いはやめ、他都市には

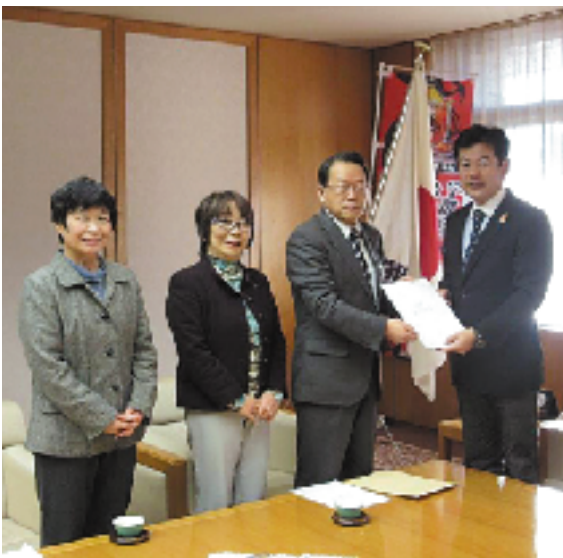
ない宇都宮の新しい顔を創出することこそ都市ブランドを高めることになる」と迫りました。

答弁では、整備方針について、「これまでのものと大きな変更はないが、LRTとの一体的な地区整備、対話型市場調査(事業者との意見交換)等の結果を反映した」と述べ、「うつのみや・セントラルパーク」の提案については、「災害時の帰宅困難者等の一時滞留スペースとしても活用できるようにゆとりある交流広場を確保する」と述べるに留まりました。

巨大なハコモノづくりは時代遅れ! 発想の転換を!

JR宇都宮駅東口の開発用地は、貴重な市民の財産。人口減少時代に向かい、発想の転換が求められています。

ハコモノづくりの大規模開発にしがみつく時代遅れな市の姿勢が鮮明となりました。



市長に要望書を提出する荒川、福田、天谷の各氏

市長に重点予算要望

国の悪政の防波堤となり 市民のくらし守って!

日本共産党宇都宮市議員団は、昨年12月28日、佐藤市長に対して「2018年度、市政運営にあたっての重点要望書」を提出しました。市民アンケート等に寄せられた声を6分野53項目にまとめたものです。この中で、党議員団は「安倍政権の18年度国予算案は、軍事費の異常な突出、社会保障を容赦なく押さえ込む姿勢が際立っている」ときびしく指摘。市民の願いは、こうした国の悪政の防波堤となり、くらしをしっかりと守る役割発揮を市政に求めているとして、地方自治の原点、市民のくらし、福祉の充実を重点とする市政運営を求めました。

市民のくらし・福祉 最重要の市政運営を

- ①医療も介護も安心のうつのみやへ
  - ▼特養ホーム待機者の解消
  - ▼認知症の早期対策
  - ▼地域担当保健師の増員など8項目
- ②子育ても魅力あるうつのみやへ
  - ▼市の児童相談所設置
  - ▼高校生まで医療費窓口無料化
  - ▼市南部地域への病児保育所設置など12項目
- ③商・工・農業を守り地域経済の土台を築く
  - ▼公契約条例の制定
  - ▼住宅リフォーム事業の充実と店舗まで事業拡大など7項目
- ④市民の交通権の確保をめざす、公共交通網の確立を
  - ▼まちなかおでかけ定期券の導入
  - ▼江曾島・西川田・鶴田各駅にエレベーター設置など7項目
- ⑤大型公共事業・土木・建設事業計画の見直し
  - ▼LRT工事着工前に住民投票の実施を
  - ▼JR駅前開発、再開発事業の見直しなど6項目
- ⑥安心・安全 すみよいうつのみやを
  - ▼消防職員充足率100%に
  - ▼自転車のまちにふさわしい道路の整備
  - ▼自衛隊ヘリ騒音対策の強化など14項目

主要要望項目は、次の通りです。

自民党議員会12名の商品券問題

市民はこのまま幕引き許してくれるのか?

県警は11月17日、この事件で公選法違反（寄付行為の禁止）の疑いで、元正副議長と他の市議より会費を多く支払った現議長を書類送検した。

日本共産党市議員団はこれまでに、社民や緑などの議員とともに議会倫理委員会での審査請求や議員協議会での説明を求めてきました。しかし、大会派などは「司法（検察）の判断を待つ」と動こうとしません。

私たちは、公選法違反の烙印を議会として示せとは求めています。

今回の事件を通じて露わになった「なぜ?議員の寄附行為などがこうも簡単に行われてしまうのか」「議会事務局及び職員と議員との適切な関係はどう築くべきなのか」とりわけ、大会派と議会事務局との間に「村度となれあいが横行してはいないか」などについて市議会と全議員が検証することが自浄作用につながり、市民の議会への信頼につながるのではないだろうか。

LRT工事申請 許可するな LRT問題連絡会 国交省に陳情



住民合意のないまま進めようとしているLRT導入計画に反対する「宇都宮市のLRT問題連絡会」は11月28日、国土交通省に、同市の工事施工認可申請書を慎重に審査した上で許可しないよう陳情しました。

日本共産党宇都宮市議員団から荒川つねお議員が出席しました。荒川議員は、「宇都宮のLRT建設計画は『市民合意なし』『原価償却費未計上』『平出地域路線部分の専用軌道を併用軌道とのすり替え』など強引で無理筋が多すぎる。この手法は、全国初の全軌道新設LRTのモデルになり得ない」と指摘。「国交省は事務的な認可申請審査にとどめず、原点からの慎重な審査を行うべき」と強く求めました。

国保税上げずに!下げて!! 2018年度より都道府県化

福田くみ子議員の厚生常任委員会質疑で、2018年度からの国民健康保険の都道府県化による宇都宮市の国保標準保険料率の試算結果が明らかになりました。この試算は、市が行っている一般会計からの法定外繰り入れを反映していません。現行国保税と比べて大幅値上げとなる試算となっていました。

市議員団は、栃木民医連・市生健会、年金者組合及び新婦人の宇都宮支部の代表とともに、市長への緊急要望を行いました。法定外繰り入れ継続で税引き上げ回避を。その主旨は、18年度、国保税算定にあたり「引き続き保険税軽減のため法定外繰り入れを行い値上げを回避すること。今年度と同水準の繰り入れで値下げできる場合は値下げを行うこと」を強く求めました。



対応した酒井保健福祉部長は「国保運営協議会の審議を受け算定にとりくむ。都道府県化によって負担が増えることは避けなければならぬ」とのべました。

市民の皆さんへ

日本共産党宇都宮市議員団では、市民の皆さんの声を市政に届けるため、最大限の努力をしております。市民の皆さんと市議員団をつなぐ「ほっとらいん」としてお届け致しますので、ご一読いただければ幸いです。皆様のご意見、ご要望等どしどしお寄せ下さい。

定例無料 市政・法律なんでも相談会

- 2月10日(土) 市総合コミセン和室
- 3月10日(土) 市総合コミセン会議室

※時間は午後2時～4時  
※弁護士が協力します。プライバシー厳守  
※相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡下さい。

市政、くらし、福祉、労働・雇用、教育、生活環境、介護、子育て、すまいの問題、多重債務、市民生活について、その他なんでも

★お急ぎの方はいつでもご連絡下さい。  
日本共産党宇都宮市議員団  
電話 632-2622 FAX 632-7753  
電話 634-8722 (休日夜間など)



東市民活動センター南側に移った喫煙所

市民の声から

この副流煙なんかとして

いつも、東図書館脇の奈坪川沿歩道を歩いています。東図書館などの利用者のための灰皿が遊歩道の脇に設置されており、風向きによっては副流煙で嫌な思いをしています。何とかして下さい。

中今泉 Sさん

場所移動で一件落着

荒川議員が現地を確認し、文教消防水道常任委員会で改善を求めました。その結果、喫煙場所が遊歩道散歩者や来館者に配慮された片隅に移動されました。